

全体方針

まちづくり構想とは

これから具体的なまちづくり活動を始めることを、区や地区住民、そして様々な関係機関等へ「宣言」するものです。また、これから取り組むまちづくり活動の「基本的な考え方」を示すものです。

今ある魅力を最大限に活かすことが堀切のまちづくりの前提です

まちの魅力

- ・下町風情の街並みが残る、歩いて楽しいまち
- ・自然や緑が身近に感じられるまち
- ・地域シンボルがあるまち



心配事

- ・密集市街地なので災害が不安
- ・資源を活かしきれていない

なりわいの魅力

- ・身近な商店街があるまち
- ・ものが生み出されるまち
- ・伝統工芸が息づくまち



心配事

- ・商店街に元気がない
- ・店舗や町工場の減少

人の魅力

- ・豊かな地域コミュニティがあるまち
- ・まつりのあるまち
- ・まちづくりに対する住民熱意が高いまち



心配事

- ・高齢化や若者の定住人口の減少により活気がなくなっている

まちづくりの理念(合言葉)

誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり

まちの将来像

- ・生まれたときからお年寄りになっても、誰もが地域の中でつながりやいきがいをもちながら暮らしていけるまち
- ・地域の自然、歴史、文化など、誰もが今ある魅力を楽しめるまち
- ・災害による被害を受けにくく、誰もが安全・安心に住み続けられる、生き残れるまち

将来像の実現に向けたまちづくりへの取り組み方

今の堀切のまちの魅力の強化・継承とまちの改善の両立を図りながら、まちづくりに取り組みます。

- ・ブロックごとのまちの特徴を踏まえたまちづくり
- ・まちの姿や成り立ちなどの個性を際立たせ、堀切ならではのまちの骨格づくり
- ・堀切のまちの顔や核となる拠点づくり、それらをつなぐまちづくり
- ・以上を踏まえ、緊急性、モデル性、波及効果の高いところから取り組むまちづくり 等

行政と協働でまちづくりに取り組みます。

- ・まちづくりの具体化に向けて、行政による必要な情報提供
- ・まちづくりの具体化に向けて、行政による必要な計画づくりやまちづくり事業化の検討
- ・計画づくりやまちづくり事業化のための検討への住民の主体的な参加、検討内容への提案
- ・既に活動する地域団体と役割分担や連携したまちづくり 等

住民が主体的に関わるまちづくりに取り組みます。

- ・まちづくりに参加する地域住民の裾野を広げるための構想の周知・PR
- ・住民一人一人が、すぐにできることに取り組む
- ・地域の魅力や問題点、そのための対策と行動を、住民自らが話し合える場づくり
- ・住民主体でまちづくりに取り組める組織づくりの検討 等

テーマごとの方針

防災まちづくり方針

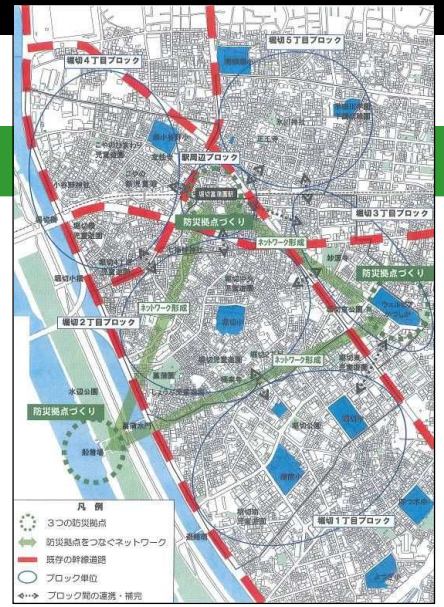
防災拠点ネットワークのイメージ図

基本的な考え方

1. 今のまちの魅力を活かし、震災後も次世代へ魅力を継承できる『防災まちづくり』の推進
2. 震災が起こっても、自宅で住み続けられる『防災まちづくり』の推進
3. いざという時は、逃げられる・救出できる『防災まちづくり』の推進

取り組み方針

1. 地区全体にとって大切な防災拠点づくりを進める
2. 大切な防災拠点をつなぐ、大きな骨格とネットワークづくりを進める
3. ブロック単位で、防災課題に応じた防災まちづくりを進める
4. ブロックが担う役割を意識した防災まちづくりを進める



地域活性化まちづくり方針

活性化まちづくりの目標(合言葉)

地域の“暮らしやすさ”につながる活性化
堀切を暮らしの舞台とする人(住む人、働く人)が満足できる、暮らしやすい、暮らしが楽しい、暮らし続けられるまちを目指す

活性化まちづくりのテーマ(必要なこと、取り組みたいこと)

1. 多くの人に堀切の“まちの成り立ち”を伝え、感じさせよう
2. 堀切の暮らしを支え豊かにする“なりわい”を根付かせよう
3. “高齢者”も、まちなかで活動し続けられるようにしよう
4. “若い世代”を増やし定着させていこう

活性化まちづくりの実現に向けて(取り組みの進め方)

- ・歩いて暮らせるまちなかをつくる～回遊性+住まいづくり～
- ・まちの魅力をつなぐ～骨格づくり～
- ・活性化の取り組みを広げる～人づくり～



まちの魅力をつなぐ骨格づくりのイメージ図

京成本線荒川橋梁架替事業に伴うまちづくりへの取り組み方針

基本的な考え方

橋梁架替事業実施にあたっては周辺地域への最大限の配慮を求めると同時に、これを機に周辺地域で様々な問題解決に向けたまちづくりに積極的に取り組み、この機会を地域のために最大限に活用することを目指す。

取り組み方針

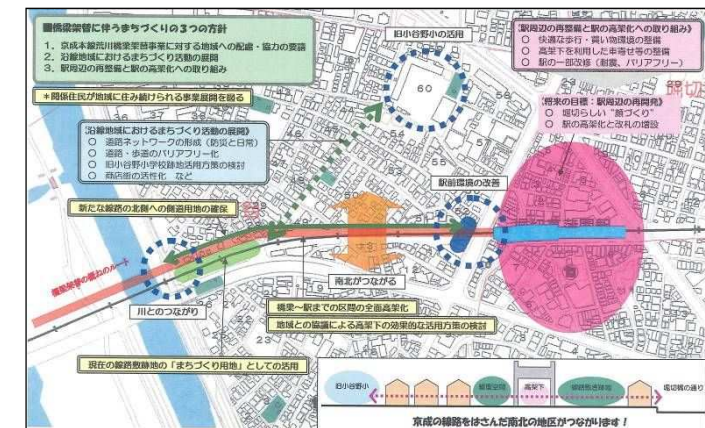
1. 京成本線荒川橋梁架替事業に対する地域への配慮・協力の要請
地域のより良い環境づくりを進めるきっかけとしていくために、国土交通省および京成電鉄に対し、周辺地域および堀切地区全体のまちづくりへの最大限の配慮と協力を促す。

2. 沿線地域におけるまちづくり活動の展開

直接影響を受ける堀切四丁目の区域には、架替事業との連携により、地元住民が中心となって防災対策や商店街活性化対策などの課題の解決に向けたまちづくり活動を展開し、地区全体としても、その活動に積極的な支援・協力をしていく。

3. 駅周辺の再整備と駅の高架化への取り組み

高架化により生じる高架下空間を有効に活用し、駅周辺街区の再整備に取り組み、併せて京成電鉄との協議・協力により駅舎の改修と高架化の実現を図る。



事業に伴うまちづくりへの取り組み方針イメージ図